

令和7年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】
事業概要

令和7年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	京都工芸繊維大学		
設置区分	国立	学校種	大学
都道府県	京都府	事業期間	令和7年度～令和16年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員及び学部等の設置・増員
事業計画名	京都工芸繊維大学創発誘導高度デジタル学による異分野融合型高度情報専門人材育成事業		

2. 事業概要

学部の工学専門知識を基礎として高度情報工学の専門性を併せ持ち、多彩な工学分野において課題の創発的な発見ならびに解決ができ、グローバルに活躍できる高度情報専門人材を育成するために、情報工学専攻内に創発誘導高度デジタル学科目として創発誘導デジタル学特別演習、高度情報システム特別演習、ならびに、企業・地域問題解決特別演習を新設し、工芸科学部情報工学課程の入学定員を10名増員し、大学院博士前期課程情報工学専攻の入学定員を二段階で19名増員する。情報工学と他の工学分野との相互理解力と創発的な課題解決能力の涵養、情報工学と他の工学分野の専門知識や技能の修得、ならびに、各種実習科目の実施による実社会での多様な課題に対する解決能力の涵養を行い、ウェルビーイングな社会の実現のために来るべき高度情報化社会において切望されるビッグデータやAIをものづくりに応用できる高度情報専門人材の育成を行う。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	工芸科学研究科設計工学専攻	10	10		工学関係
	計	10	10	増員数	0
修士	工芸科学研究科情報工学専攻	46	65	R9、R13増員	工学関係
	計	46	65	増員数	19
学士	工芸科学部情報工学課程	61	71	R9増員	
	計	61	71	増員数	10

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前 (R7.4.1時点)	16.7%	9.0%	10.2%
増員後	16.7%	12.3%	12.9%
増分	+0.0%	+3.3%	+2.7%

事業計画名 京都工芸繊維大学創発誘導高度デジタル学による異分野融合型高度情報専門人材育成事業

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員及び学部等の設置・増員
所在地	京都府京都市
増員する情報系組織名(修士)	工芸科学研究科情報工学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	11名(R9)、8名(R13)
増員する情報系組織名(学士)	工芸科学部情報工学課程
入学定員増数及び増員時期(学士)	10名(R9)

<社会や地域のニーズ・課題>

- ・来るべき高度情報化社会においては、**データサイエンス**だけでなく、**様々なドメインの知識と技能**を修得した人材が切望
- ・日々楽しく生きられ、生き甲斐を感じられるウェルビーイングな社会の実現のために、**情報・人間・社会が三位一体となった情報システムの社会実装**が切望

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- ・情報工学専攻内に、**多彩な工学分野の課題を創発的に発見・解決**できる**高度情報専門人材を育成**するための「**創発誘導高度デジタル学**」科目を新設
- ・情報工学の専門知識と他専攻での専門知識を修得する**異分野融合型人材育成**
- ・各種実習科目の実施により、**実社会での多様な課題に対する解決能力**を涵養
- ・ウェルビーイングな社会の実現のために、**ビッグデータやAIをものづくりに応用**できる**高度情報専門人材の育成**

<教育内容・育成する人材像>

- ・AI、データサイエンス、ネットワーク、コンピュータビジョン、ヒューマンインタフェース、人間科学、心理・認知科学などの**情報工学の専門知識の修得**
- ・機械、電気・電子、物性、バイオ、デザイン、建築などの**他の工学分野**の多様な課題解決に必要な**専門科目の履修**ならびに**演習・実習科目の履修**
- ・他の工学分野との**相互理解力**と**創発的な課題解決能力**の涵養
- ・修士研究による**深い考察力、発想力**と**英語による議論や発表**による高い研究能力の涵養
- ・様々な分析を行うための**AI・データサイエンス(DS)科目**の履修
- ・**グローバルインターンシップ**や**英語による専門科目**の履修
- ・**リカレント・リスクリング教育**にも適用しやすい科目構成
- ・工芸科学部における工学専門知識を基礎として高度情報工学の専門性を併せ持ち、**多彩な工学分野において課題の創発的な発見**ならびに**解決**ができ、**グローバルに活躍**できる**高度情報専門人材の育成**

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

(初等中等教育との連携)中等教育段階を中心とした出前講義・公開講座を通じて、本事業により実施する科目群の内容を含む情報工学に関わる最先端の話題や技術動向に興味・関心をもってもらう取組を実施。
 (他大学との連携)京都府立大学、京都府立医科大学との教養教育の共同実施を活用し、異分野融合型人材育成への連携教育に努める。
 (企業等との連携)「京都クオリアフォーラム」(京都府内の7大学、8企業)との連携による、創発的課題に関する科目実施

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

(女子学生)**リケジョ(理系女子)先進大学**(全学の約3割が女子学生、情報工学は約2割が女子学生、大学として**理系女子を応援**)として、情報工学専攻の女性教員を中心とした広報活動の拡充を図る。
 (社会人)本学リカレント教育プログラム「機械学習・IoT・ビッグデータ技術履修コース」修了者について積極的に広報する。
 (留学生)海外協定大学を対象とした大学院工芸科学研究科**国際科学技術コース**による留学生の確保の拡充に努める。

